

試験結果報告書（概要版）

受付番号 11503032-01
平成 27 年 05 月 27 日

初野建材工業株式会社 様

一般社団法人 埼玉県環境検査研究協会

〒330-0855

埼玉県さいたま市大宮区上小町 1450 番地 11

電話番号 048-649-5497

試験責任者 技術本部長 山岸 知彦



ご依頼がありました放線菌 *Flexivirga alba* ST13^T について、OECD ガイドラインに従い安全性試験を行った結果を下記のとおり報告します。

試験名	試験対象生物	結果	安全性評価内容
単回経口投与試験	ラット	LD ₅₀ >2000mg/kg	ヒトに対する毒性
単回経皮投与試験	ラット	LD ₅₀ >2000mg/kg	
魚類急性毒性試験	ヒメダカ	96hr LC ₅₀ >100mg/L	水棲生物に対する毒性
ミジンコ急性遊泳阻害試験	オオミジンコ	48hr EC ₅₀ >100mg/L	
藻類生長阻害試験	ムレミカツキモ	48hr EC ₅₀ [(生長速度0-3d)]>100mg/L 最大無影響濃度(NOEC)≥100mg/L	
土壌生物(ミミズ)急性毒性試験	シマミミズ	LC ₅₀ >1000mg/kg	土壌生物に対する毒性

いずれの試験においても 放線菌 *Flexivirga alba* ST13^T による影響は観察されなかった。
よって、放線菌 *Flexivirga alba* ST13^T による環境への負荷は考えにくい。

~~~~~  
用語説明

- OECD（経済協力開発機構）：経済成長、貿易自由化、途上国支援を目的に設立された国際機関 日本は 1964 年に加盟し、現在欧州を中心にアメリカ等 34 かが加盟
- OECD ガイドライン：化学物質の有害性を評価するための試験法を OECD が作成
- LD<sub>50</sub>：実験動物の 50%を死亡させると算出された対象物質の濃度
- EC<sub>50</sub>：実験生物の 50%に影響（遊泳阻害など）を与えると算出された対象物質の濃度
- 最大無影響濃度：生長などの生物活動について、影響が観察されない対象物質の濃度